

# 生きもので見る川の水質



川底の石の裏についている生物を調べてみよう



## 水質階級と指標生物

指標生物名	指標生物名
アミカ	イソコブムシ
ウズムシ	タイコウチ
カワゲラ	タニシ
サワガニ	コホドノコエビ
ナガレトビケラ	ヒル
ヒラタカゲロウ	ミズカマキリ
ブユ	ミズムシ
ヘビトンボ	アメリカザリガニ
ヤマトビケラ	エラミミズ
イシマキガイ	サカマキガイ
オオシマトビケラ	セスジュスリカ
カワニナ	チョウバエ
ゲンジボタル	■きれいな水
コオニヤンマ	■少し
コガタシマトビケラ	■きたない水
スジエビ	■きたない水
ヒラタドROMシ	■きたない水
ヤマトシジミ	■きたない水

## 水生生物観察会水質調査記録

◆調査日：2005年（平成17年）6月7日（火）、9日（木）  
 ◆調査河川：藤井川、木梨川、木門田川  
 ◆調査団体：木ノ庄西小学校、木ノ庄東小学校、木頃小学校、三成小学校、栗原北小学校、西藤小学校  
 藤井川を守る会、尾道市、尾道市公衆衛生推進協議会  
 ※川の中にはさまざまな生き物がすんでいます。特に川底にすんでいる生き物は、過去から調査時点までの長い時間の水質の状況を反映しています。したがって、どのような生き物がすんでいるかを調べることでその地点の水質の程度を知ることができます。川の環境の状態を私たちに教えてくれる生き物を**指標生物（ししょうせいぶつ）**といいます。



**木門田川**  
 <木ノ庄西小学校>  
 JA木ノ庄西支所裏

★ **少しきたない水**

ヒラタカゲロウ  
 カワニナ  
 ヒル  
 エラミミズ

**木梨川**  
 <木ノ庄東小学校>  
 信長バス停裏

★ **きれいな水**

サワガニ  
 ミズムシ  
 ヤマトビケラ  
 ヒラタカゲロウ  
 ヘビトンボ  
 カワゲラ  
 カワニナ  
 ヒラタドROMシ

**藤井川**  
 <木頃小学校>  
 成楽橋下

★ **少しきたない水**

コガタシマトビケラ  
 ウズムシ  
 カワゲラ  
 カワニナ  
 コオニヤンマ  
 ヒル  
 ヒラタドROMシ  
 タニシ

**藤井川**  
 <三成小学校>  
 <栗原北小学校>  
 新養老橋下

★ **少しきたない水**

ヒラタドROMシ  
 ウズムシ  
 ゲンジボタル  
 コオニヤンマ  
 コガタシマトビケラ  
 ヒル  
 セスジュスリカ

**藤井川**  
 <西藤小学校>  
 延倉橋付近

★ **少しきたない水**

コガタシマトビケラ  
 ウズムシ  
 ヒラタドROMシ  
 コオニヤンマ  
 カワニナ  
 スジエビ  
 ヒル  
 ミズムシ

## ホタルの一生

幼虫は約9ヶ月間水中で暮らし、カワニナを食べ、6回脱皮して終齢幼虫になります。ホタルは幼虫も発光します。幼虫は桜の花が咲くころ上陸し、土の中にもぐってさなぎになります。さなぎは約50日で羽化し成虫になります。成虫の寿命は約2週間ぐらいです。成虫は川岸の苔(こけ)や草、樹木に生える苔(こけ)などに卵を産みます。



## 水生生物を調べてみよう

